

ごあいさつ

平素より私ども鳥取銀行に対しまして格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。当行は昭和24年の創立以来、鳥取県に本店を置く唯一の地方銀行として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。これも皆さまの温かいご支援のたまものと深く感謝しております。

このたび2019年度中間決算の内容等について詳しくご紹介する「鳥取銀行2019年9月期 中間期ディスクロージャー誌」を作成いたしました。ご高覧のうえ、当行へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

当行では、2018年4月より、中期経営計画「NEXT VALUE」に取り組んでおります。本計画では、利ザヤの縮小や人口減少といった経営課題に対し、営業力強化と生産性向上を両立させることにより収益力の強化を図るとともに、顧客本位のビジネスモデルを実践することによって、「未来への変革に挑み、お客さま・地域との共通価値を創造する銀行」を目指してまいります。

皆さま方におかれましても、今後ともより一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2020年1月
取締役頭取 平井 耕司

経営理念 地域社会への貢献と健全経営

中期経営計画
〈計画期間〉
2018年4月～
2021年3月

目指す姿 未来への変革に挑み、お客さま・地域との共通価値を創造 (CSV) ※する銀行
※ CSV: Creating Shared Value

基本方針

- 基本戦略
 - 地元への積極的な資金供給による地域経済の活性化
 - 本業支援とコンサルティングを通じたお客さま本位の業務運営

営業力強化戦略

法人営業	課題解決や本業支援を通じたお取引先の企業価値向上
個人営業	お客さま本位の業務運営と効率的なリテール営業の実践
地方創生	地域の活力を創造する地方創生の推進
FinTech	外部連携の強化やデジタルイノベーション技術の活用により顧客利便性を向上

生産性向上戦略

業務効率化	従来の「やり方」や前例踏襲の「考え方」から脱却して生産性を向上
店舗再整備	マーケットや環境変化を踏まえたチャネル最適化と経営資源の再配分
働き方改革	限られた時間の中で成果をあげる創意工夫、働きやすく、働きがいのある職場へ

経営力強化戦略

市場運用	総合損益を重視し、柔軟にポジションをコントロール
コンプライアンス	強固なコンプライアンス態勢の維持・向上
リスク管理	リスク管理体制の高度化
ガバナンス	企業価値の向上へ向けたガバナンス体制の充実・強化

● 計数目標

	2020年度
中小企業向け貸出金残高	2,350億円
投資信託残高	435億円
非金利収益比率※	12.6%
当期純利益	10億円

※非金利収益比率＝役務取引等利益÷(業務粗利益－国債等債券関係損益)

会社概要(2019年9月30日現在)

本店所在地	……	鳥取市永楽温泉町171番地
前身銀行設立	……	1921年(大正10年)12月15日
創　　立	……	1949年(昭和24年)10月1日
資　本　金	……	90億円
店　舗　数	……	65カ店：県内53カ店、県外12カ店 (その他1事務所)
従　業　員　数	……	717人
総　資　産	……	9,911億円
預　　金	……	9,203億円
貸　出　金	……	7,821億円

目次

連結情報	……	2
単体情報	……	13
中間財務諸表	……	14
損益の状況	……	18
経営効率	……	19
預金	……	20
融資	……	21
有価証券	……	23
時価情報	……	24
デリバティブ取引	……	26
資本・株式	……	27
自己資本の充実の状況等について	……	28
中小企業の経営の改善及び地域の 活性化のための取組みの状況	……	42

■当行は、2018年9月中間期および2019年9月中間期の中間連結財務諸表ならびに中間財務諸表について、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき太陽有限責任監査法人の中間監査・監査証明を受けております。